

モニタリング結果報告書

施設 県立汐見台病院
指定管理者 社団法人 神奈川県医師会
施設所管課 保健福祉局企画調整部病院事業課

(平成 22 年度 下半期)

管理運営状況総括

1 月例報告書によるモニタリングの概況

| 報告月 | 受理日 | 確認通知日 | 備考（確認事項等） |
|-----|--------|-------|-----------------|
| 10月 | 11月24日 | 12月1日 | 月例報告書を確認、改善事項なし |
| 11月 | 12月22日 | 1月6日 | 月例報告書を確認、改善事項なし |
| 12月 | 1月31日 | 2月7日 | 月例報告書を確認、改善事項なし |
| 1月 | 3月4日 | 3月9日 | 月例報告書を確認、改善事項なし |
| 2月 | 3月25日 | 3月31日 | 月例報告書を確認、改善事項なし |
| 3月 | 4月27日 | 5月10日 | 月例報告書を確認、改善事項なし |

2 指定管理者の選定理由にある取組み等の実施状況

(1) 提案内容の達成度

A：提案を上回る B：提案どおり C：提案を下回る

(2) 実施状況等

〔指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績又は今後の見込みを記載する。〕

<提案内容の概要>

政策的医療機能として、救急医療の対応、地域医療機関との連携の充実、腎疾患専門医療の対応等を行う。

<実施状況>

横浜市磯子地域の中核病院として、救急患者の受け入れ（下半期は1494人）、患者紹介や共同診療といった地域の医療機関との連携の充実、腎疾患専門治療部における治療等を行っている。

また、分娩を取り扱う医療機関が減少する中で、平成19年度から政策的医療機能として産科医療の充実を位置づけており、平成22年度下半期は402件の分娩を実施した。

3 収支状況

(単位：千円)

| | 収 入 額 | | | | 支出額 | 収支差額 |
|-------------|-----------|----------------------|------------------|-------|-----------|-----------|
| | 指定管理料 | 利用料 (前年同月 料金額) | その他収入 | | | |
| 年間予算額 | 4,784,051 | 767,956 | 4,012,795 | 3,300 | 4,784,051 | 0 |
| 上半期計 (a) | 2,072,631 | 689,504 | 1,383,049 (0) | 78 | 1,634,732 | 437,899 |
| 下半期計 (b) | 2,561,312 | 84,867 | 2,471,975 (0) | 4,470 | 2,999,211 | △ 437,899 |
| 10月 | 328,941 | 10,950 | 317,991 (0) | 0 | 392,271 | △ 63,330 |
| 11月 | 322,524 | 11,110 | 311,414 (0) | 0 | 325,932 | △ 3,408 |
| 12月 | 334,300 | 15,145 | 317,608 (0) | 1,547 | 602,074 | △ 267,774 |
| 1月 | 344,371 | 11,171 | 333,184 (0) | 16 | 374,973 | △ 30,602 |
| 2月 | 339,009 | 11,011 | 327,998 (0) | 0 | 247,988 | 91,021 |
| 3月 | 892,167 | 25,480 | 863,780 (0) | 2,907 | 1,055,973 | △ 163,806 |
| 合計 (a+b) | 4,633,943 | 774,371 | 3,855,024 | 4,548 | 4,633,943 | 0 |

1 指定管理者の収入を記載する(県の収入である「使用料」は含まない)。

2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見等

・半期計欄の収支差額が、収入額又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。

・また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。

・年間予算額の収支が均衡していない場合は、その理由を記載する。

下半期は、在院日数の低下や待機患者数の減などが続いたが、診療報酬の改定により、収益の減が抑えられた結果となった。

(今期に行った資本的な収入及び支出の状況)

| | 内容 | 金額(千円) |
|--------|------------------------------------|--------|
| 収入の状況 | — | — |
| 支出の状況 | オーダーリングシステム取得費用 ※支出額は上記収入状況表の内数 | 34,475 |
| 積立等の状況 | 職員退職積立金 ※支出額は上記収入状況表の内数 | 80,948 |

収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。

支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。

積立等の状況：積立・借入れ等がある場合は、その内容(施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等)、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

4 利用状況

| | 患者数 | | | 前年同月患者数 | | | 対前年比増減率 | | |
|---------|---------|---------|--------|---------|---------|--------|---------|--------|--------|
| | 外来 | 入院 | 救急 | 外来 | 入院 | 救急 | 外来 | 入院 | 救急 |
| 上半期計(a) | 75,529人 | 29,809人 | 1,561人 | 74,279人 | 31,282人 | 1,805人 | 1.7% | -4.7% | -13.5% |
| 10月 | 12,780 | 4,964 | 225 | 13,622 | 4,972 | 263 | -6.2% | -0.2% | -14.4% |
| 11月 | 13,238 | 5,072 | 245 | 13,132 | 5,241 | 288 | 0.8% | -3.2% | -14.9% |
| 12月 | 12,648 | 4,905 | 292 | 13,114 | 5,120 | 234 | -3.6% | -4.2% | 24.8% |
| 1月 | 12,538 | 4,766 | 300 | 12,699 | 4,600 | 271 | -1.3% | 3.6% | 10.7% |
| 2月 | 12,089 | 4,393 | 222 | 11,845 | 4,882 | 266 | 2.1% | -10.0% | -16.5% |
| 3月 | 13,684 | 4,958 | 210 | 13,845 | 5,147 | 239 | -1.2% | -3.7% | -12.1% |
| 下半期計(b) | 76,977 | 29,058 | 1,494 | 78,257 | 29,962 | 1,561 | -1.6% | -3.0% | -4.3% |
| 合計(a+b) | 152,506 | 58,867 | 3,055 | 152,536 | 61,244 | 3,366 | 0.0% | -3.9% | -9.2% |

利用状況に関する意見等

半期計欄の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。

前年度比で外来患者が減少した主な原因は、横浜市の乳がん・子宮がん検診の受診者の減である。入院患者の減については、手術件数が少なかったことが考えられる。また、全体として不景気等による個人の医療費抑制が考えられる。

また、横浜市による救急拠点病院に関する制度の改正に伴い、当院は救急拠点病院から外れたため、救急患者の減となった。

5 苦情・要望等の状況

(施設受付分)

(施設所管課受付分)

| 報告月 | 口頭 | | 文書 | | | 合計 |
|-----|----|----|----|-----|-------|----|
| | 対面 | 電話 | 手紙 | メール | アンケート | |
| 10月 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 2 |
| 11月 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 12月 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 |
| 1月 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 |
| 2月 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 |
| 3月 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 |

| 報告月 | 口頭 | 文書 | 合計 |
|-----|----|----|----|
| 10月 | 0 | 2 | 2 |
| 11月 | 0 | 0 | 0 |
| 12月 | 0 | 1 | 1 |
| 1月 | 0 | 1 | 1 |
| 2月 | 0 | 1 | 1 |
| 3月 | 0 | 1 | 1 |

6 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者に評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなどを記載する。

| 分野 | 概要 | 対応状況 |
|-------|-------------------------------------|---|
| 施設運営 | 病院から直接薬局に院外処方箋をファックスするサービスを実施してほしい。 | 個人情報保護の点から、また、薬剤師会から常駐スタッフの派遣が必要であることなどから、実施は難しい。 |
| | 女子トイレが全体的に汚いので、気持ちよく利用できる環境にしてほしい。 | 院内職員及び清掃業者に周知した。 |
| | 待ち時間が長い。予約時間を守る体制にならないか。 | 整理票を配付するなど、引き続き公平性が保たれる案内をするよう努めていく。 |
| 施設・設備 | 胃カメラ、大腸内視鏡検査室の待合室の設備を改善してほしい。 | スペースの余裕がないため、待合室を拡充することは難しい。 |
| | 銀行のATMを設置してほしい。 | 金融機関の協力が得られないため、設置は難しい。 |

7 事故や不祥事等の発生状況

利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、県庁改革課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。

| 発生日 | 概要・対応状況等 |
|-----|----------|
| 月 日 | なし |

8 随時モニタリングの実施状況

事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。

| 実施日 | 対応者等 | 経緯・調査内容 | 調査結果 |
|-----|------|---------|------|
| 月 日 | なし | | |
| 月 日 | | | |

9 下半期の所見等

〔 1～8の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。 〕

指定管
理者

産科医療については、分娩予定件数を継続して月 72 件とし、下半期については 402 件の分娩を取扱った。また、助産師外来並びに母乳外来の設置により、当院の分娩への取組みが大いに認知されるようになり、当院での分娩希望者の増加にできるだけ対応できるよう予約等の調整を行った。また、学童外来（皮膚科）、スポーツ整形外科外来においては、引き続き患者受入れ拡充を図る取組み（学校訪問等）を継続して行った。さらには、上半期同様横浜市の無料クーポンによる乳がん検診及び子宮がん検診の実施機関として協力を行っている。

また、東日本大震災の災害医療チームを編成し、宮城県石巻市へ赴き 5 日間にわたり医療救護活動を行った。

施設所
管課

横浜市磯子地域の中核病院として、地域医療機関との連携を密にした開放型病院として医療を提供している。特に、分娩を取り扱う医療機関が不足する中で、地域の医療ニーズに応じて産科医療の充実に努めており、助産師外来の取組み等により引き続き前年度と同程度の分娩件数を維持している。施設の運営管理は良好に実施されている。